

年	組	名前
---	---	----

日田市の三花公民館青少年健全育成事業が「平成三花咸宜園」と名前を変えて新たにスタートしました。



中島園長の講話を聞く塾生たち『日田市の三花公民館』

日田「平成三花咸宜園」スタート

## 淡窓の心受け継ぐ

日田市の三花公民館青少年健全育成事業が「平成三花咸宜園」と名前を変えて新たにスタートした。活動の根底に郷土の先哲広瀬淡窓の教育思想を据えよつとの狙い。5月31日に同所で開園式があった。

三和小学校5、6年生を対象に、月1、2回実施する青少年健全育成事業。元小学校長で新館長の中島龍磨さん(60)が、淡窓の精神を教育の場に生かした経験から、より心の教育を深めた活動にしよう企画。事業名には淡窓の私塾名を取り入れた。

淡窓思想の「敬天」(感謝や尊敬)、「立志」(夢や目的を持つ)、「一治めて後、学ぶ」(律してから取

### 「敬天」や「立志」柱に活動

り組む)の三つを柱にする。活動内容はこれまでと大きく変わらないが、それぞれ教えを取り組みの姿勢に。塾長や副塾長のほか、学習、食事、遊山、放學などの係を決めて「自治」を意識。毎回、活動の初めは塾長の号令で姿勢をただし、漢詩「休道の詩」を朗唱。園長に就任した中島館長による「淡窓講話」の時間も設ける。

塾生44人や保護者が集まり開園式。中島園長が「平成の今、淡窓のしたことを実践することが大事。主役は皆さん。力を合わせて頑張ろう」などとあいさつ。淡窓の思想「敬天」について講話し「いろんなことを大切にするといい意味では。言葉はつのみにせず自分で考えて」と語った。保護者らによる読み聞かせサークル「しゃぼん玉」による紙芝居で、淡窓の生きざまにも触れた。

(2013年6月2日朝刊13面)

①日田市の先哲広瀬淡窓を知っていますか？ どういう人でしょう。

.....

.....

.....

.....

②淡窓思想の三つの柱は何でしょう。一つ一つについて、自分ではどう考えますか？

.....

.....

.....

.....

③自分たちの郷土の先哲を探し、調べてみよう。

.....

.....

.....

.....